

GY-HM200 取扱説明書 追加変更のお知らせ

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。本書の「取扱説明書」とあわせてお読みください。

システム“4K”のビットレート追加

[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [ビットレート] に“70M”を追加しました。

システム	形式	解像度	フレームレート	ビットレート (太字が追加)
4K	Quick Time	3840×2160	30p	150 M
			25p	70 M
			24p	

メモ:

- 4K 設定時、ネットワークは使用できません。

使用できる SD カードについて

フォーマット設定と使用可能な SD カードの組み合わせ

システム	形式	ビットレート	使用可能な SD カード
4K	Quick Time	150M	UHS-I U3 以上 Class10 以上
		70M	
HD	AVCHD	50M(YUV422)、 50M(XHQ)	Class6 以上 Class4 以上
		35M(UHQ)	
		—	
SD	—	—	—
Web	—	—	—

SD カードの記録可能時間めやす

- [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [形式] 項目を“QuickTime”に設定時。

システム	4K		HD		SD	Web	
	2160p		1080i / 1080p		480i / 576i	960p	480p
ビットレート	150M	70M	XHQ	UHQ	—	HQ	LP
4GB	3	6	9	12	47	130	285
8GB	6	13	18	25	95	270	580
16GB	12	26	36	50	190	540	1160
32GB	25	52	72	100	380	1080	2320
64GB (SDXC)	50	105	145	200	760	2160	4720
128GB (SDXC)	100	210	290	400	1520	4320	9440

(単位: 分)

ヒストグラム機能追加

輝度分布を表したグラフで、主に画像の露出確認を行います。

- ヒストグラム機能をオンにする
 - [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [ヒストグラム] 項目を“入”に設定します。
 - “ヒストグラム”を割り当てたユーザーボタンでも行えます。
- ヒストグラム表示の上限および下限を設定する
設定した輝度レベルの表示色が赤になります。

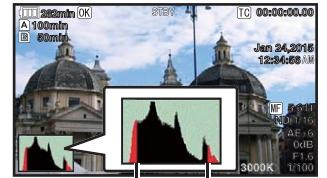
項目	設定内容	選択肢
上限	ヒストグラム表示色を変更する輝度レベルの上限を設定	5% ~ 110% (5% 刻み) 初期値: 80%
下限	ヒストグラム表示色を変更する輝度レベルの下限を設定	0% ~ 105% (5% 刻み) 初期値: 20%

例 1) 上限 110%、下限 0%



※ 赤のエリアは表示されません。

例 2) 上限 90%、下限 10%




下限 上限

ヒストグラムの見かた

- 縦軸は画素数を表します。
- 横軸は画素の明るさを表します。

ゼブラ機能“入”時の表示アイコン追加

ゼブラパターンの表示動作中、カメラモード時のディスプレイ画面に  (ゼブラアイコン) が表示されます。

メニュー項目: [記録トリガー] 設定項目変更および追加

[映像 / 音声設定] → [映像設定] → [HDMI/SDI 出力] → [記録トリガー] の設定項目を変更しました。

- HDMI
[HDMI] 端子とカメラ本体の [REC] ボタンに連動してトリガー信号を重畳して対応機器へ録画 / 停止制御信号を出力します。
- SDI
[SDI OUT] 端子とカメラ本体の [REC] ボタンに連動してトリガー信号を重畳して対応機器へ録画 / 停止制御信号を出力します。
- HDMI + SDI
[HDMI/SDI OUT] 端子とカメラ本体の [REC] ボタンに連動してトリガー信号を重畳して対応機器へ録画 / 停止制御信号を出力します。
[設定値: ●切, HDMI, SDI, HDMI+SDI]

メモ:

- [映像 / 音声設定] → [映像設定] → [HDMI/SDI 出力] が“切”のとき、[記録トリガー] は“切”固定となり選択できません。
- [システム] → [記録設定] → [記録モード] を“インターバルレック”または“フレームレック”にしたとき、[記録トリガー] は“切”固定となり選択できません。
- 記録トリガーに対応していない機器を接続する場合は、“切”に設定してご使用ください。

ライブストリーミングのビットレート追加

[システム] → [ネットワーク] [設定] → [ライブストリーミング設定] → [フレーム数 / 画質] の設定値を追加変更します。

フレーム / 画質のフレーム数	解像度	太字が追加変更設定値
60i, 60p, 30p	1920×1080	60i(12Mbps), ● 60i(8Mbps), 60i(5Mbps), 60i(3Mbps)
	1280×720	30p(8Mbps), ● 30p(5Mbps), 30p(3Mbps), 30p(1.5Mbps)
	720×480	60i(8Mbps), 60i(5Mbps), ● 60i(3Mbps), 60i(1.5Mbps), 60i(0.8Mbps), 60i(0.3Mbps)
50i, 50p, 25p	640×360	30p(3Mbps), ● 30p(1.5Mbps), 30p(0.8Mbps), 30p(0.3Mbps)
	1920×1080	50i(12Mbps), ● 50i(8Mbps), 50i(5Mbps), 50i(3Mbps)
	1280×720	25p(8Mbps), ● 25p(5Mbps), 25p(3Mbps), 25p(1.5Mbps)
	720×576	50i(8Mbps), 50i(5Mbps), ● 50i(3Mbps), 50i(1.5Mbps), 50i(0.8Mbps), 50i(0.3Mbps)
640×360	25p(3Mbps), ● 25p(1.5Mbps), 25p(0.8Mbps), 25p(0.3Mbps)	

メニュー項目：[ライブストリーミング設定]追加項目

[システム]→[ネットワーク][設定]→[ライブストリーミング設定]→[ストリーミングサーバー]→[Server1]/[Server2]/[Server3]/[Server4]に以下の項目を追加しました。

- 適応ビットレート
“入”に設定すると、ライブストリーミングのビットレート設定値を最大とし、ネットワーク帯域の変化に応じて自動的にビットレートを変更します。[設定値：入、●切]

メモ：

- [タイプ]が“ZIXI”であり、[レイテンシ]が“中”または“低”のときにのみ、適応ビットレートが設定可能です。
※“入”に設定時のみステータス画面にビットレートが表示されます。

- PCR ジッター
“低”に設定すると、ライブストリーミングのPCR ジッターを低減します。[設定値：●標準、低]

メモ：

- [タイプ]が“MPEG2-TS/UDP”のときにのみ設定可能です。

メニュー項目：[APN]を追加

[システム]→[ネットワーク][設定]→[接続設定]に[APN]を追加しました。

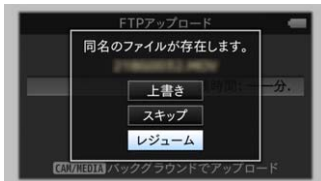
- ※APN：アクセスポイントネーム (Access Point Name)
- ※APN を設定できないアダプターを装着している場合、グレー表示となり選択できません。

ご注意：

- APN の設定は本機ではなく、セルラーアダプターに書き込まれます。誤った APN を設定した場合、通信できなかったり、通信会社から高額な請求をされたりする場合がありますので、正しく設定してください。

FTP レジューム機能追加

FTP 転送開始時、サーバーに同一名ファイルが存在し、かつ転送しようとしているファイルサイズより小さい場合、サーバー上のファイルは FTP 転送が中断された内容と判断してレジューム (追加書き込み) 確認画面が表示されます。



“レジューム”を選択すると、中断された位置から追加するように FTP 転送が行われます。FTP 転送が正常に終了すると、画面に“完了しました”と表示されます。

メモ：

- レジューム機能付きの FTP サーバーが必要です。
- [システム]→[ネットワーク][設定]→[クリップサーバー]→[Clip-FTP1/2/3/4]→[プロトコル]を“SFTP”に設定した場合、“レジューム”機能は無効になります。
- ネットワーク接続設定の [FTP プロキシを選択してください] 画面で“HTTP”を選択した場合、レジューム機能は無効になります。

メニュー項目：[プロトコル]に設定値“ZIXI”追加

[システム]→[ネットワーク][設定]→[クリップサーバー]→[Clip-FTP1/2/3/4]→[プロトコル]の設定値に“ZIXI”を追加しました。“ZIXI”を選択すると、[システム]→[ネットワーク][設定]→[クリップサーバー]→[Clip-FTP1/2/3/4]の [ユーザー名] が [ストリーム ID] に変わります。[設定値：●FTP、SFTP、FTPS、FTPES、ZIXI]

メモ：

- “ZIXI”に設定する場合、別途専用のサーバーが必要になります。
- “ZIXI”に設定した場合、“レジューム”機能は有効になります。

サムネイル画面の表示項目を追加

サムネイル画面の詳細画面のメタデータ表示に以下の項目を追加しました。

- クリップサイズ
- ガンマ

AVCHD のときの記録モードにクリップコンティニアス追加

[システム]→[記録設定]→[記録モード]で、“AVCHD”形式のときの設定値に“クリップコンティニアス”を追加しました。クリップコンティニアスレックは、“AVCHD”のときでも動作可能になりました。

メニュー項目：[SD アスペクト]に設定値“サイドカット”追加

[映像 / 音声設定]→[映像設定]→[SD アスペクト]に“サイドカット”の設定値を追加しました。

- レター：
上下方向を黒くしたワイド映像で表示します。
- スクイーズ：
左右方向を圧縮した映像を表示します。
- サイドカット：
ワイド画面の左右をカットして表示します。
[設定値：●スクイーズ、レター、サイドカット]

メモ：

- [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[システム]で“SD”選択時は、“スクイーズ”と“レター”が選択可能です。

4K 時の拡大フォーカス機能に 2.5 倍表示モードを追加

[システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[システム]で 4K 時の拡大フォーカス機能に、約 2.5 倍表示を追加しました。セットボタンで、従来のドットバイドット相当表示 (約 5 倍) と表示を切り換える事ができます。

メモ：

- 電源を入れて、最初の拡大フォーカスはドットバイドット相当表示 (約 5 倍) になります。

メニュー項目：[カメラデータ]追加

[LCD/VF 設定]→[表示設定]→[カメラデータ]を追加しました。

常に：
アイリス F 値、ゲイン、シャッター、ホワイトバランスの値を常時表示します。オートの場合は数値の左側に [A] アイコンが表示されます。マニュアルのみ：
アイリス F 値、ゲイン、シャッター、ホワイトバランスの値はマニュアルのときのみ表示します。[設定値：常に、●マニュアルのみ]

アイリスダイヤルでアイリス / シャッター / AE レベルを操作できる設定を追加

[カメラ機能]→[アイリスダイヤル]に“アイリス / シャッター / AE レベル”の設定値を追加しました。“アイリス / シャッター / AE レベル”を選択している場合、通常はアイリス操作ですが、シャッターボタンを押したあとはシャッター操作、AE ボタンを押したあとは AE レベル操作になり、操作後にアイリス操作に戻ります。[設定値：●アイリス、シャッター、AE レベル、アイリス / シャッター / AE レベル]

メニュー項目：[HDMI TC]追加

[映像 / 音声設定]→[映像設定]→[HDMI TC]を追加しました。HDMI 出力端子にタイムコードを重畳するかどうかを設定します。[設定値：●切、入]

メモ：

- [映像 / 音声設定]→[映像設定]→[HDMI/SDI出力]が“SDI”、“切”のとき [HDMI TC] は“切”固定となり選択できません。
- HDMI TC に対応していない機器を接続する場合は、“切”に設定してください。

[HDMI/SDI 出力]の [解像度] 設定値変更

映像出力をネイティブフレームレート出力に変更し、設定値を追加しました。[HDMI] 端子または [SDI OUT] 端子から出力される映像の解像度を接続するモニターにあわせて設定します。
[設定値：576i、576p、480i、480p、720p、1080i、1080p、1080/30p、1080/25p、1080/24p、2160/24p、2160/25p、2160/30p]

その他のご注意

- 本書の「取扱説明書」に記載している“MPEG LA MPEG-2 Patent”は、本製品では対象外となります。